

～読んでみない？こんな本～

ピーターラビットの絵本 ピーターラビット全おはなし集

ビアトリクス・ポター さく・え いしいももこ(ほか)やく 福音館書店



ピーターラビットの絵本は全部で24巻あり、それぞれの登場人物がちょこちょこ他の本にも出ていますから、読むにしたがって、さながら小さな村の出来事をのぞいているようです。どの本の主人公も、一人一人にその動物特有の特徴が描かれていて、身近に暮らしているように感じてしまいます。おはなしの中身は感情が語られているわけではないのに、その生活ぶりが私たちと重なること（例えばピーターのお母さんは命からがら逃げてきたピーターを世話してくれますし、ティギーおばさんはせんたく屋の仕事をしています）もあれば、動物そのものの生活も分るようなもの（りすのナトキンやあひるのジマイマ）もあって、どの本も飽きることはありません。

青い上着を着たピーターがこの世に出たのは1902年のことでした。それから100余年ピーターラビットの絵本は世界で翻訳され、親子に渡ってこの本を楽しんでいる方もいらっしゃると思います。今年はポターの半生を描いた映画も公開され、福音館書店から「ピーターラビット全おはなし集」の改訂版も出されています。全おはなし集は、その話しごとの解説があるのでそのおはなしの背景も知ることができます。